

全ト協発第490号(経)  
令和3年1月13日

都道府県トラック協会  
会長様

公益社団法人全日本トラック協会  
会長 坂本 克己

## 令和2年度「公益社団法人全日本トラック協会青年部会全国大会」の開催について

平素は当協会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では事業後継者・人材育成の一環として「令和2年度公益社団法人全日本トラック協会青年部会全国大会」を別添のとおり開催いたします。

今年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTubeを使用したLIVE配信にて実施いたします。今回は青年経営者並びに事業後継者に加え、一般の会員事業者にも広くご視聴いただきたいと考えておりますので、多くの皆様にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。

### 記

1. 日時 令和3年2月19日(金) 13:00～15:15
2. プログラム 別添のとおり
3. 参加費 無料

※視聴方法等につきましては、下記の全ト協ホームページ(リンク)をご覧ください。

<https://www.jta.or.jp/seinen/r02zenkokutai.html>

全ト協ホームページ HOME > 会員の皆様へ > 青年部会

> 令和2年度青年部会全国大会のご案内

以上

◇問い合わせ先 (公社)全日本トラック協会 経営改善事業部

TEL 03-3354-1056

令和2年度(公社)全日本トラック協会青年部会  
全 国 大 会

【大会テーマ】

つなぐ想い～地域を支える物流業界へ～

開催日時 令和3年2月19日(金)  
13時00分～15時15分  
YouTubeでLIVE配信

主 催



## ご挨拶



公益社団法人全日本トラック協会 副会長  
庄子 清一

このたび、令和2年度全日本トラック協会青年部会全国大会が、Web配信により開催される運びとなりました。全国大会の開催に当たり、ご協力いただきました皆様方に対しまして、厚く御礼申し上げます。

例年、多くの青年経営者の皆様にご参集いただき実施してまいりました全国大会も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、このようなかたちでの開催になったことは、ヒューマンネットワークを重視する青年部会の皆様にとっては苦渋の決断だったのではないのでしょうか。

しかし、どのような状況でも、青年経営者らしい新しい発想で課題に取り組む青年部会の活動は、常に我々業界に新しい可能性を生み出してきました。今後も果敢に挑戦を続けていただきますようお願い申し上げます。

さて、全ト協では、将来のトラック運送業界を担う青年経営者並びに事業後継者を育成し、その活動を支援することを目的に平成25年度より、協会組織として青年部会を発足いたしました。以来、青年部会に所属する全国5,300名の青年経営者の皆様には、業界が抱える様々な課題に対する研修をはじめ、他団体との交流、社会貢献活動など、その団結力、行動力には敬意を表する次第であります。

コロナ禍において、エッセンシャルワーカーとして注目されている当業界ですが、安定した輸送力を確保していくためには、日々ハンドルを握り、現場で活躍されているドライバーの皆様が自信と誇りを持って働き、豊かな暮らしが築ける仕組み作りが不可欠です。

全ト協としましても、真面目な事業者が社会において正当な評価を受け、健全な事業経営が行える体制を構築してまいりたいと考えております。青年経営者の皆様におかれましてもこれらの課題解決に向け、ご協力をいただくとともに、若い力で率先して取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今回の全国大会におきまして、大いに研鑽を積んでいただき、業界の更なる発展のため、今後も積極的に活動いただく事を強く期待しております。

## 祝 辞



自由民主党 青年局長  
牧島 かれん

令和2年度全日本トラック協会青年部会全国大会の開催にあたり、心よりお慶び申し上げます。本年は皆様にお会いできず残念ですが、新たな試みに挑む皆様に敬意を表すとともに、素晴らしい成果が生まれることを期待しております。

昨年9月の党役員人事にて、第51代自民党青年局長を拝命しました。

自民党青年局は全ての都道府県に青年組織を有し、現在は1,327名の地方議員、そして民間人、学生をはじめとした22万人の青年黨員で構成されています。

青年局は立党以来、改革の最前線に立つファーストペンギンとして、いつの時代でもその役割を果たしてきました。私もその職責を果たすべく、「青年局こそ自民党の原動力」を旗印に新体制を始動させました。全国の青年局メンバーと社会課題を解決すべく活動するなかで、災害対応は特に取り組むべき課題と考えております。

我が国では近年、地震や台風、豪雨などの自然災害が全国各地で発生しており、さらに昨年からは新型コロナウイルスが世界的にも猛威を振るっています。

いつ、どこで、どのような災害が発生するかわからない今、我々に求められるのは組織の連携力です。

2011年に東日本大震災が発生した際、全日本トラック協会の皆様が迅速に対応され、被災地に緊急支援物資が届けられました。機動力に優れたトラック輸送がライフラインの大部分を担った事実は、国民一人ひとりの記憶に刻まれていることでしょう。

本年はその東日本大震災から10年という節目にあたります。有事に備え、自民党青年局は全日本トラック協会青年部会をはじめとした青年団体と連携したいと考えております。

岩田享也青年部会長をはじめとした青年部会の皆様は、日頃より党活動にもご協力いただき心強い仲間です。物流業界の基幹的な役割を果たしつつも常に先を見据える皆様とともに自民党青年局は力を尽くしてまいります。

結びに、全日本トラック協会青年部会の皆様のご健勝とご多幸、そして本大会が成功されることを心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

## 祝 辞



国土交通省自動車局貨物課長  
伊地知 英己

この度は、令和2年度青年部会全国大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。全日本トラック協会におかれましては、将来のトラック運送業界を担う事業後継者の育成のため、青年部会を組織されておりますが、今回は、Web配信形式で全国の青年組織会員の皆さまが視聴され、「つなぐ想い～地域を支える物流業界へ～」という今大会のテーマのもと、各青年組織からのメッセージムービーの上映や活動報告をされると伺っております。皆様が日頃から業界の将来を見据えた取組を続けられていることに、敬意を表する次第です。

トラック運送事業は、我が国の経済と日々の暮らしを支えるライフラインとして欠かすことのできない大切な産業です。この1年、社会が新型コロナウイルス感染症と戦う中、国民の日々の生活が守られ、経済活動が維持できるのは、日夜懸命にモノを運ぶトラック運送事業者のおかげです。物流は「エッセンシャルサービス」であり、そこで働く方々は「エッセンシャルワーカー」とであると広く認識されるようになったのは、皆様の日頃の努力の賜物であり、改めて敬意を表する次第です。

一方、トラック業界の担い手となる人材の確保・育成は喫緊の課題です。「働き方改革関連法」に基づく時間外労働の上限規制の適用まであと3年少々となりましたが、荷主と運送事業者が連携し、スピード感を持って取り組んでいかなければなりません。

また、改正貨物運送事業法については、法改正施行の総仕上げとして、「標準的な運賃」を昨年4月に告示したところです。国土交通省としても、この周知・浸透を図るとともに、不適格な者の参入を認めず、不適切な事業者には業界から退出していただくことで、公平・公正な競争環境を確保できるよう、関係省庁等と連携して取り組んで参ります。

トラック運送業界と我が国物流の未来を支える、ご参加の若手経営者の皆様には、業界の発展と事業の活性化に向けた積極的な活動の中心になって頂くことを期待いたしますとともに、青年部会並びに青年組織会員の皆様の一層の発展とご健勝を心から祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

# 令和2年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会 プログラム

(司会：公益社団法人全日本トラック協会青年部会 副部会長 細江 良枝)

1. 開会 13:00

2. 開会挨拶 13:00~13:10

公益社団法人全日本トラック協会 青年部会長 岩田 享也

3. 「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」

顕彰事業の概要、審査委員会委員長講評、受賞事業の概要

13:10~13:35

4. 各青年組織メッセージムービー紹介 13:35~13:50

5. 青年部会活動報告 13:50~14:00

公益社団法人全日本トラック協会青年部会 副部会長 黒田 智也

6. 各青年組織の社会貢献活動紹介 14:00~14:10

7. 講演 14:10~15:10

テーマ：「国際秩序変動の今こそ物流業の取るべき構え」

講師：山猫総合研究所代表

国際政治学者 三浦 瑠麗 様

8. 閉会挨拶 15:10~15:15

公益社団法人全日本トラック協会 青年部会 副部会長 河合 智哉

9. 閉会 15:15

## 講演



### 『国際秩序変動の今こそ 物流業の取るべき構え』

三浦 瑠麗 様

国際政治学者

シンクタンク、株式会社山猫総合研究所代表

1980年10月神奈川県茅ヶ崎市生まれ。

内政が外交に及ぼす影響の研究など、国際政治理論と比較政治が専門。東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程修了、博士（法学）。東京大学大学院公共政策大学院専門修士課程修了、東京大学農学部卒業。日本学術振興会特別研究員、東京大学政策ビジョン研究センター講師などを経て2019年より現職。

主要業績に、『21世紀の戦争と平和—徴兵制はなぜ再び必要とされているのか』（新潮社、2019年）、『シベリアンの戦争—デモクラシーが攻撃的になるとき』（岩波書店、2012年）がある。政治外交評論を記した『あなたに伝えたい政治の話』（文春新書、2018年）、『日本に絶望している人のための政治入門』（文春新書、2015年）のほか、『「トランプ時代」の新世界秩序』（潮新書、2017年）、『孤独の意味も、女であることの味わいも』（新潮社、2019年）、『私の考え』（新潮新書、2020年）など著作多数。

「成長戦略会議」民間議員（2020年10月より）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）主宰の「国際政治経済懇談会」委員（2020年6月より）、創発プラットフォーム客員主幹研究員（2019年12月より）、東京国際大学特命教授（2020年7月より）、フジテレビ番組審議委員（2019年4月より）、吉本興業経営アドバイザー委員（2019年8月より現在）。フジサンケイグループ正論新風賞（2017年）、東京大学大学院法学政治学研究科 博士（法学）特別優秀賞（2010年）、自由民主党外交・国際政治論文コンテスト初代総裁賞（2014）など受賞多数。

政治外交評論のブログ、『山猫日記』を主宰しており、公式メールマガジン、三浦瑠麗の「自分で考えるための政治の話」をプレジデント社から配信中。<http://lully.president.co.jp/> 連載多数。テレビ朝日「朝まで生テレビ!」、フジテレビ「とくダネ!」「日曜報道The Prime」「ワイドナショー」、NHKスペシャル、「クローズアップ現代+」などに出演。